

JIS

建材製品中のアスベスト含有率測定方法－ 第4部：質量法及び顕微鏡法による アスベストの定量分析方法

JIS A 1481-4 : 2016
(ISO 22262-2 : 2014)

平成 28 年 3 月 22 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
(委員)	内山 和哉	一般社団法人住宅生産団体連合会 (積水ハウス株式会社)
	嘉藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	加藤 信介	東京大学
	鎌田 崇義	東京農工大学
	橋高 義典	首都大学東京
	黒木 勝一	一般財団法人建材試験センター
	棚野 博之	国立研究開発法人建築研究所
	谷口 元	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社竹中工務店)
	西野 加奈子	一般社団法人建築・住宅国際機構
	服部 幸夫	断熱・保温規格協議会
	藤田 聡	東京電機大学
	藤野 珠枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	古江 郁子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	堀 直志	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	本橋 健司	一般社団法人日本建築学会 (芝浦工業大学)

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 28.3.22

官 報 公 示：平成 28.3.22

原案作成協力者：公益社団法人日本作業環境測定協会

(〒130-0026 東京都墨田区両国 4-38-3 第 8 高島ビル TEL 03-5625-4280)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 伊藤 弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 略語	6
5 分析要件の決定	6
6 範囲	7
7 定量限界	8
8 原理	8
9 安全上の予防措置	8
10 器具	8
11 試薬	10
12 試料量及び均一性	10
12.1 試料量	10
12.2 代表試料	10
13 マトリックス質量低減法	10
13.1 全般	10
13.2 データの記録	11
13.3 代表的なサブ試料の選択及び前処理	12
13.4 灰化による有機物質の除去	14
13.5 酸処理及び沈降分離手順	15
14 マトリックス質量低減後の最終残さ中のアスベストを定量する手順	18
14.1 全般	18
14.2 ろ紙上の残さを調べて適切な手順を選ぶ	18
15 パーミキュライト中のアスベスト様形態の角せん石の定量	25
15.1 全般	25
15.2 分析に必要な試料の量	25
15.3 サブ試料の前処理	26
15.4 角せん石の分離及び角せん石の質量分率の測定	27
16 タルク中のアスベストの定量	29
16.1 全般	29
16.2 タルク中のクリソタイルの定量	29
16.3 タルク中の角せん石の定量	29
17 法的規制値の遵守の判定	29
17.1 全般	29